**新潟県少年自然の家**

〒959-2602

新潟県胎内市乙字大日裏

☎ 0254-46-2224 Fax 0254-46-3070

自然の家ホームページ

<http://www.pref.niigata.lg.jp/shizen/>

## 子どもたちに非日常体験を

所長 丹 後 裕

「この施設の職員として働きたい！」——と強く思ったのが、教員としてのスタートを切った昭和58年の翌年の夏のことでした。新潟市の小学校の6年生担任として、新潟県少年自然の家を初めて利用したとき、私にとっては先輩に当たる当時の所員の方々の指導が大変素晴らしく、豊かな自然環境の中で、連れてきた子どもたちが1泊2日の活動に大喜びしたものでした。

学校での学習の場ではなかなか活躍できない子が、班の話し合い活動に際して、リーダーシップを発揮してみんなを上手にまとめてくれた姿があったり、普段おとなしい子が、野外炊さんの時にてきばきと野菜の皮むきをこなし、友だちに積極的にコツをアドバイスしたりする姿には、とても感動しました。子どもたちは、学校、家庭、地域では見せない第四、第五の姿を見せてくれ、担任として教室でしか知らなかった子どもたちの多面的な姿を見ることができ、衝撃を受けたものでした。

日常を離れ、当施設を利用して非日常を体験することで、子どもたちは心を解放し、大らかに、そして生き生きと活動してくれます。野外炊さんでカレーライスを作るとすると、失敗すれば食事がなくなるので、みんな必死で協力して活動します。しかし、いくらがんばっても、ご飯が焦げ付いたり水っぽいカレーになったりすることがあります。それでも、子どもたちは自分たちの力で完成させた食事に、成就感や達成感を感じていることがはっきりと分かります。その感覚は、日常とは異なる体験でしか得られないものだと思います。

自然体験活動が子どもたちの成長にとってプラスの効果をもたらすことは以前から言われていることですが、その自然体験活動が非日常的であればあるほど、個人的には効果が大きいと考えています。団体を引率される指導者の皆さんには、大胆に、そして緻密に非日常的な体験活動を子どもたちに仕組んでいただければと思います。

当施設は築40年以上が経過しており、老朽化が進んでいます。しかし、所員の心はいつも新鮮で、利用される皆さんには『笑顔と誠意』で応対することを心がけています。当施設を利用して良かったという言葉の励みに、所員一人一人が誠心誠意職務に当たってまいります。今年度からは、いよいよ新施設の建設工事が始まる予定です。利用される皆さんには、活動上何かとご不便、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、何とぞご理解いただきますようお願いいたします。



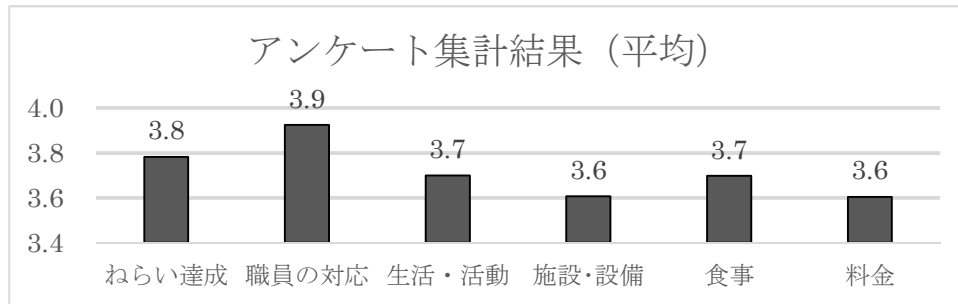
# 自然の家の通信簿

## ＜利用団体アンケートの結果から＞

平成28年度は4月から3月まで、県内外より458団体、33,851人のみなさんから当施設をご利用いただきました。ご利用いただいた際にアンケートの記入をお願いしています。施設の今後の運営に役立てていきたいと思っています。アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

※各設問では、次の1～4区分の中から選択してご回答いただきました。

《4—とても満足 3—満足 2—やや不満 1—不満》



### 1 ねらいの達成度 → 3.8（27年度 3.8）

設問：「今回、自然の家を利用して、利用のねらいや目的は達成されましたか。」

＜主な回答＞

○様々な活動を通して、生徒たちはお互いを知り、より仲良くなれたと思います。

○野外活動、レクリエーションを通して、自然に親しんだり協力したりすることができた。

○行きと帰りでは、子どもたちの顔つきが変わり、成長を感じた。

△もう少し子どもたちを自立させたかった。

△他の団体がいなかったため、他の団体への配慮を学ぶことができなかった。その他については、協力も自主性も学ぶことができた。

「この活動でこんな力を付けさせたい」「自然の家での生活でこういう面をのばしたい」と、各利用団体の皆さんのねらいが明確であり、そのねらいに沿って入念に準備をされている様子がよく分かりました。私たちも、そのねらいを事前打ち合わせ等で把握し、少しでもお役に立てるように努めていきたいと思っています。

### 2 職員の対応 → 3.9（27年度 3.9）

設問：「少年自然の家職員の対応や指導はいかがでしたか。」

＜主な回答＞

○いつも明るく元気に対応してくださり、生徒たちも笑顔で活動することができました。また、説明も分かりやすくとてもありがたかったです。

○寝具の説明がとても分かりやすかった。相談事にもすぐに対応していただいた。ありがたかった。

○悪いことは悪いときちゃんと指導してくれて、ありがたかった。

△気持ちのいい方ばかりだったが、話が皆さん長い。

利用団体の皆さんは、いろいろな思いを持って自然の家に来られます。一期一会を忘れず、丁寧な対応を心掛けていきたいと思っています。話の長さについては気を付けたいと思います。



### 3 生活・活動 → 3. 7 (27年度 3. 7)

設問：「少年自然の家での生活、活動は快適でしたか。」

<主な回答>

○POL (フォトオリエンテーリング) をしながら、「おもしろい」「楽しい」と子どもたちがつぶやく声をたくさん聞いた。

○掲示物が分かりやすく、子どもたちにとってとても見やすいと思った。

○事前研修会(6～9月利用団体)に参加したおかげで、迷うことなくスムーズに活動することができてよかった。

△夜、他団体が(特に大人)うるさくて、子どもたちの睡眠の妨げになった。

△お風呂時間がもう少し長く設定できるとありがたい。

特に6月から9月は混み合っており、いろいろな面で窮屈な思いをさせてしまうことを申し訳なく思っております。できる限り快適に過ごしていただけるように今後も努力していきます。



### 4 施設・設備 → 3. 6 (27年度 3. 5)

設問：「屋内外の施設・設備はいかがでしたか。」

<主な回答>

○芝がきれいに刈られていてとても使いやすかった。

○施設は古いが、利用者の皆さんが丁寧に使っているため、各場所がとてもきれいだった。

○衛生面が行き届いていた。また、エアコンの使用により、疲れもとることができた。

△営火場の放送小屋にクモの巣が付いていた。

△児童の人数に対して、トイレ(大)が少なく感じた。

△風呂が狭い。シャワーの数が少ない。

利用団体のみなさんに不便をかけないように施設のメンテナンスに努めていますが、老朽化からくる問題は避けることができません。平成31年春に新施設ができます。それまで、御理解をお願いいたします。

### 5 食事 → 3. 7 (27年度 3. 6)

設問：「食事の内容はいかがでしたか。」

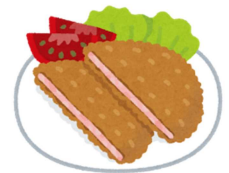
<主な回答>

○とてもおいしく、量も内容も児童向きでとても満足していた。

○アレルギー対応等、細かい面まで配慮していただきありがたかった。

○できたて、あつあつの食事をとることができ、大変ありがたかった。

△子どもには少し量が多いように感じた。全部食べきるのに時間がかかった。



アレルギー対応では、メニューを工夫する、希望があれば事前に成分表をお知らせする等、栄養士が適宜相談にのっています。また、できるだけ『あつあつ、できたて』を提供できるようにしています。「バイキング形式がよかった」という御意見を毎年いただきますが、食堂スペースの関係等で、現在の形式で提供しています。御理解をお願いいたします。

### 6 満足度 → 94. 3 (27年度 93. 6)

設問：「利用にあたって、期待を100点満点とした場合、満足度は何点でしょうか。」

<主な回答>

○所員の皆様のおかげで、無事に活動を終えることができ、感謝している。限りある施設の中で、気候等の条件の下、工夫されたプログラムが用意されていた。

「また利用したい。」という御意見を多数いただきました。施設が古いぶん、皆さんのニーズに応えられるようにスタッフ一同誠意を持って努力してまいります。今後も、当施設の御利用をよろしく願います。

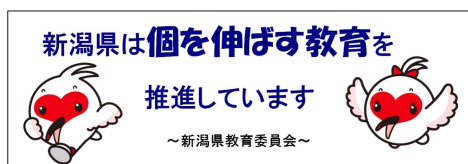
# 平成29年度の主催事業

事業名		期 日		内 容	募集人員
利用団体引率指導者研修会		①	4／25（火）	6～9月間に当施設を利用 する団体引率指導者への活動 内容説明・活動体験・調整	6月利用団体引率指導者
		②	5／30（火）		7月利用団体引率指導者
		③	6／26（月）		8・9月利用団体引率指導者
はつらつ体験塾	第一回	SC	5／13・14（土・日）	不登校及び不登校傾向にあ る児童生徒への自然体験や宿 泊体験を通じた自立支援活動  SC…スマイルキャンプ  （出会いのキャンプ）  FC…フレンドリーキャンプ  （交流を深めるキャンプ）  CC…チャレンジキャンプ  （挑戦するキャンプ）	各回とも県内小・中学生  30名
		FC	6／17・18（土・日）		
		CC	7／15・16・17（土・日・月）		
	第二回	SC	9／16・17（土・日）		
		FC	10／14・15（土・日）		
		CC	11／18・19（土・日）		
	第三回	SC	12／16・17（土・日）		
		FC	1／13・14（土・日）		
		CC	2／10・11・12（土・日・月）		
自然・ふれあい 家族のつどい		①	8／26・27（土・日）	家族で参加する、季節に応じ た自然体験活動・創作活動	各回とも小中学生を含む  家族25組（70名程度）
		②	12／ 2・ 3（土・日）		
チャレンジわんぱく		①	7／29・30（土・日）	カヌー・野外活動 等	県内 小学4～6年生  70名
		②	9／30・10／1（土・日）	登山・野外炊さん 等	
		③	1／27・28（土・日）	スキー・斉の神 等	
家族でカヌーに親しもう			8／11（金：山の日） ①午前の部 ②午後の部	家族で参加するカヌー体験 ※カヌー体験は小学4年生以上	午前・午後とも  家族参加で30名程度
ハートフルドリームキャンプ		①	4／29・30（土・日）	新潟県生涯学習推進課主催  一人親家庭対象事業	詳細については HP やチラシ で広報
		②	10／ 7・ 8（土・日）		
はねうまキャンプ		①	9／23・24（土・日）	国立妙高青少年自然の家主催  国・県教育施設連携事業	詳細については HP やチラシ で広報
		②	2／ 3・ 4（土・日）		

## 【その他の事業予定…期日のみ掲載】

事業名	期 日	事業名	期 日
自然の家で防災キャンプ	10 / 28・29 (土・日)	高校生リーダーシップ研修	1 / 20・21 (土・日)
指導者スキルアップセミナー	6 / 10・11 (土・日)	大人の体験教室	1月中旬～3月上旬の平日
中学生リーダーシップ研修	12 / 25・26 (月・火)	自然の家職員出前指導	4月～9月を除く随時

詳しくは、新潟県少年自然の家ホームページなどでご確認ください。



お問合せ先

新潟県少年自然の家

TEL 0254-46-2224

FAX 0254-46-3070

ホームページは [新潟県少年自然の家](#)

検索

